

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ブイ・アイ・ピー	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.550	△RG	0.043	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：VIP

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番 研磨剤

比較対照ボール：SUPRA

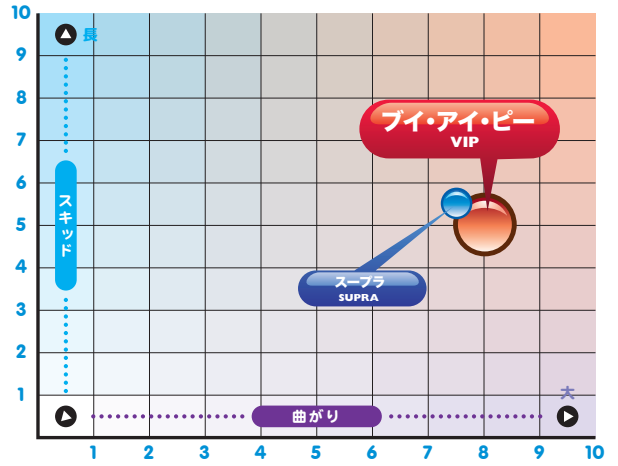
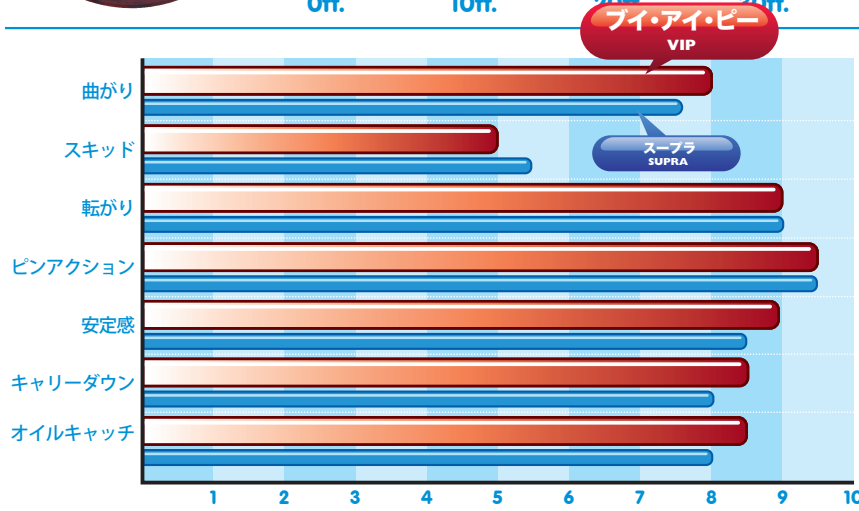
フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番 研磨剤



ボールの評価

PBAを代表する選手でEJタケットと言えばMOTIV社に欠かせない選手の一人であることはみなさんご存知だと思います。EJタケットがMOTIV社と契約してからMOTIV社は新たな可能性を求め舵をきったとも言えます。そのひとつが光沢があり、キャッチするカバーストックの積極的な開発で、MOTIV社を世界レベルに引き上げたPrimal RageのFusion Pearl ReactiveをさらにフレキシブルにしたInfusion Pearl Reactiveが現在の代表作です。このカバーはRIP CODEから始まりSUPRA、さらに進化させたJackal Flashへと続いています。Infusion Pearl Reactiveの特徴はInfusionカバーストックの粘りのあるキャッチ特性にPearlを添加させ、走りとドライエリアでの俊敏な反応が売りで、特にSUPRAではその特徴が十二分パフォーマンスとして感じて頂けるでしょう。今回のVIP ExJはEJタケット監修の特別モデルで世界規模で個数限定のプレミアムボールで、日本に割り当てられた個数はほんのわずかです。MOTIV創業当初から汎用性と信頼性の高いQuadfire CoreとInfusion Pearl Reactiveの組み合わせでリリースです。

テストドライブでまず初めに感じたのは総合的に安定していることでした。Pearl素材としては走り過ぎないし、ガッツリ動くというよりは攻めやすく、舵取りできるボールリアクションで、取り扱いが非常に素直だけれどしっかりと曲がるイメージもある。こう表現してみるとEJタケット用に作られたボールだということがハッキリ示されていて、我々日本人でもフランチャイズのコンディションで軸として使用して頂けるボールの領域です。今までInfusion Pearl Reactiveは5500 Grit LSP仕上げが多かったのですが、VIPは5000 Grit LSPであることも安定感を感じる要因の一つでしょう。実用性が高くベンチマーク的な役割をもつ領域ですので、MOTIVファンは見逃せないボールと言えるでしょう。

特記事項

世界規模で限定発売されるプレミアムモデルのVIP ExJ。EJタケットがトーナメントを勝ち抜くために仕上げたボールをあなた自身で性能を感じてください。